

## アダルトグッズ OL 日記 02

楊 梓(ヨウ シ)

2020年の9月ごろに台北のバスと繁華街ビルの外壁の大きなデジタル看板にアダルトグッズとその通販サイトの広告が出されていた。



台北のバス



アダルトグッズの広告動画、男性用グッズを表示しているシーン

この光景を見て、非常に驚いた。具体的には以下の3つである。

### ①法律や規定について

中国大陸では広告法により、「猥褻、エロチック」なコンテンツを広告に載せてはいけない。日本の場合、エロコンテンツは合法だが、バスやビルの外壁看板では全くみたことがない。東京都交通局の広告掲出審査ガイドラインによると、アダルトグッズの広告は掲出不可

となっている。

---

広告掲出審査ガイドライン

(中略)

43 通信販売の広告

(3)危険物、ペット、医薬品、アダルトグッズ等の商品の広告は掲出不可とする。

---

## ②社会文化について

台湾出身の同僚は同じくこの件について驚き、台湾は友達と普通にアダルトグッズを討論するような文化的環境ではないと言った。台湾も儒家文化に影響され、性やアダルトグッズがタブー視される部分もある環境だと考えている。しかし、このような環境でアダルトグッズの広告が公共の場で掲載できた。現地の方がこれに対し、どのように考えているかについて非常に興味を持っている。

## ③子どもへの配慮について

もちろん、「性を表通りに」、性のタブー視をなくすということはとても賛成しており、これを実現するために日々努力している。アダルトグッズを日用品のようにタブー視なく、取り扱いして欲しいと考えている。一方、18歳以下の子どもが触れ合ってはいけないとも考えており、自身が矛盾した2つの考えを持っていることに気づいた。

広告を掲載した通販サイト (<https://www.drqq.toys>) にも「本サイトはアダルトグッズが含まれているため、閲覧、購入できるのは18歳から」と書かれている。では、なぜ18歳以下の子どもがアダルトグッズを見てはいけないあるいは使ってはいけない、どこまで触れ合いして貰えば大丈夫などの問題については続いて考える。

参考資料：

広告掲出審査ガイドライン

[https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/yoko\\_yoryo/pdf/b\\_yoko\\_yoryo08.pdf](https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/yoko_yoryo/pdf/b_yoko_yoryo08.pdf)

台湾のアダルトグッズ通販サイト

<https://www.drqq.toys>